福岡市民病院　地域連携広報誌

Fukuoka City Hospital

FCH

Vol.50

2024 Summer



○平川副院長就任のご挨拶
○放射線科　紹介
○CT装置の紹介
○看護師の特定行為について
○福岡東部オープンカンファレンスのお知らせ

地域医療支援病院
地方独立行政法人福岡市立病院機構
福岡市民病院

福岡市博多区吉塚本町 13-1
TEL 092-632-1111　FAX 092-632-0900
https://shiminhp.fcho.jp/



平川副院長就任のご挨拶

この度、2024年6月1日より副院長を拝命致しました平川勝之と申します。
2003年4月、脳神経外科部長として着任し、同時に脳神経内科とともに脳血管・脳卒中センターを設立させて頂きました。以後、脳血管障害・腫瘍・頭部外傷・脊髄疾患と多くの臨床経験を積ませて頂くことができましたが、これはひとえに近隣の先生方のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。
脳神経外科は、患者様の命を守り、健康を取り戻すために最も専門性を要する分野ですが、看護・リハビリテーション・栄養管理等、様々な職種によるチーム医療が極めて重要となります。私はこれまでの経験と知識を活かし、チームと協力して高度な医療を提供するために全力を尽くす所存です。

また今回、約4年にわたり猛威をふるったCOVID-19を通じ、公的病院としての役割・責務を再認識させられました。当院に求められる機能とは何かということを十分に認識し、市民病院の一員として共に取り組んで参りたいと思います。新興感染症・高度救急・災害・高度医療等、当院が果たすべき医療は多岐にわたりますが、救急医療については、医療機関だけの問題ではなく、救急隊による病院前救護の質の向上がかかせません。
本年度より福岡地域救急業務メディカルコントロール協議会の会長、NPO法人福岡地域救急医療連携協会の理事長を拝命しており、地域における救急医療提供体制の維持と向上についても取り組んでまいりたいと思います。医療の質を高め、患者の健康と幸せに貢献し、皆様に信頼され必要とされる病院となるよう努力して参りたいと考えています。副院長として病院長をお支えし、この責任ある役職に誠実に対応しながら、皆様とともに未来を切り拓いていくことを心より楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【専門分野】
脳神経外科・救急

【専門医・認定医】
日本脳神経外科学会指導医・専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脊髄外科学会認定医
福岡大学医学部臨床教授
福岡地域救急業務メディカルコントロール協議会会長
NPO法人福岡地域救急医療連携協会理事長
JPTECインストラクター
MCLSインストラクター



副院長
平川　勝之

Department of Radiology

放射線科 科長　清澤恵理子

福岡市民病院スタート時から放射線科を牽引して来られた吉田喜策先生の後を受け、2021年4月より放射線科科長をさせていただいております。常勤は診断専門医2名（清澤恵理子、村山佑里子）、専攻医2名（佐野淳偲、古城友梨枝）の4名です。

放射線科業務はCT・MRI読影、単純X線写真読影（胸部、腹部、骨など）、IVR（TACE、BRTOなど経カテーテル的治療、非血管系のCTガイド下膿瘍ドレナージ）、超音波検査（甲状腺、下肢静脈など）です。

CTは令和4年5月から新しく装置を更新し（GE Revolution Apex 256列）、頭部や胸部～骨盤の全身CTや頭頚部・心臓・大血管・下肢を中心とした血管系検査が増加しています。造影剤減量や被ばく低減を実現し患者さんの負担も減らす安全な検査を心がけています。

MRI（PHILIPS 3.0T INGENIA）は予定検査に加え脳卒中や脊椎関連の急患が多く、腹部でも胆石関連の緊急MRCP症例が増加しています。HCC検索のEOB造影MRIの需要も増加傾向です。
CTやMRIに関しては検査依頼を受け、一件一件にどのように撮像するか指示コメントをつけるというのも放射線科医の業務のひとつです。ご依頼の内容から患者さんにより適した撮像となるようにしています。

単純写真はご依頼に応じて主に胸部・腹部単純X線を読影しています。主治医とダブルチェックの意味があり、放射線科医の読影力向上，研修医の教育としても重要と考え、CTやMRIなどと対比して単純写真の理解を深めています。

IVR（画像下治療）はあまり馴染みのない言葉かもしれませんが、当科ではHCCの治療であるTACE（肝動脈化学塞栓術transcatheter arterial chemoembolization）を主に行っています。最近はHCCの罹患数の減少や薬剤療法の進化で検査件数は年々減少しています。非血管系IVRでは主に体内の膿瘍に対してCTを用いてドレナージを数件施行しています。（CTガイド下ドレナージ）。

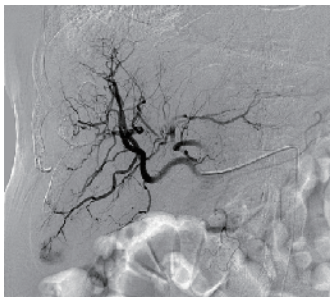
超音波検査は検査部と協力して実施しています。腹部は検査部が担当し、放射線科医は下肢静脈，頸部などを施行しています。

その他、朝夕に各科とのカンファレンスに参加し、症例の経過や治療方針の検討や術後の結果など画像を介して他科との連携を密に行っています。（※脳卒中カンファレンス；週3回、肝臓カンファレンス；月曜日、消化管外科カンファレンス；水曜日、整形外科抄読会；木曜日、外科術前カンファレンス；木曜日、消化管カンファレンス；金曜日）

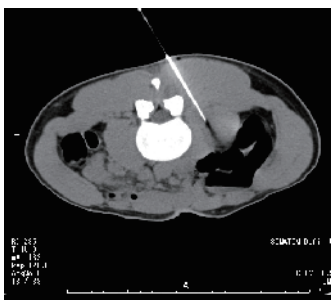
また月に2回ほど夕方に研修医や専攻医を対象として、救急画像レビューの会を行っています。
典型的症例や見逃しやすい症例を読影してもらい翌日からの診療に役立つように期待しています。他科のスタッフの先生にもご参加いただいており、臨床所見と合わせた見方などのご意見をもらえこちらも勉強になっています。

今後とも患者さんや先生方のお役に立てるよう努めて参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

IVRの例



血管造影：HCC



CTガイド下ドレナージ：大腰筋膿瘍



左から佐野、村山、清澤、古城

【福岡市民病院のＣＴ装置の紹介】

令和４年５月より当院 CT 装置が GE 社製 Revolution Apex に更新されました。新装置は様々な要素で患者様に優しい検査を実施することが可能です。

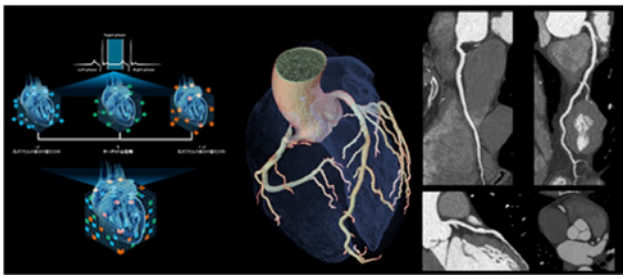
1. 世界最高レベルの機能を搭載

160mm のワイド検出器、最大出力 1300mA かつ 1 回転 0.28 秒の X 線管球、最速 437mm/秒のテーブル移動により、最短で頭部 1.0 秒、心臓 0.28 秒、胸腹部 2.0 秒での高画質撮影が可能です。



2. 高心拍・不整脈でも安定して鮮鋭な冠動脈 CT

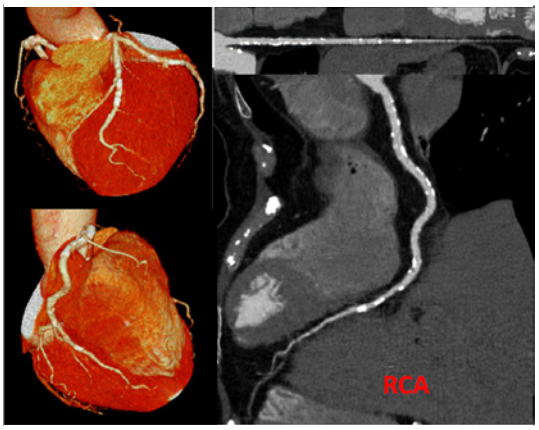
冠動脈 CT は心電図同期で撮影しますが、画像の鮮鋭度は撮影時の心拍数や不整脈に大きく左右されます。新装置は心臓を 1 心拍・1 回転、最短 0.28 秒で撮影でき、不整脈感知により不整脈の影響を受けない心位相での撮影が可能です。
さらに撮影後、最適心位相を自動選択し、GE 社独自の冠動脈静止解析アルゴリズムによる画像再構成により、撮影時間 0.058 秒相当の画像を得ることができます。



3. 腎機能低下例での造影 CT 検査適応拡大

最大出力 1300mA の X 線管球と AI のディープラーニング技術により、少ない放射線量で高コントラストの撮影が可能で、造影剤を従来の 1/2 程度に減量しても従来と同等以上の高精度高画質の画像が得られます。

冠動脈 CTA



新装置 造影剤 20mL 使用

腹部大動脈 CTA



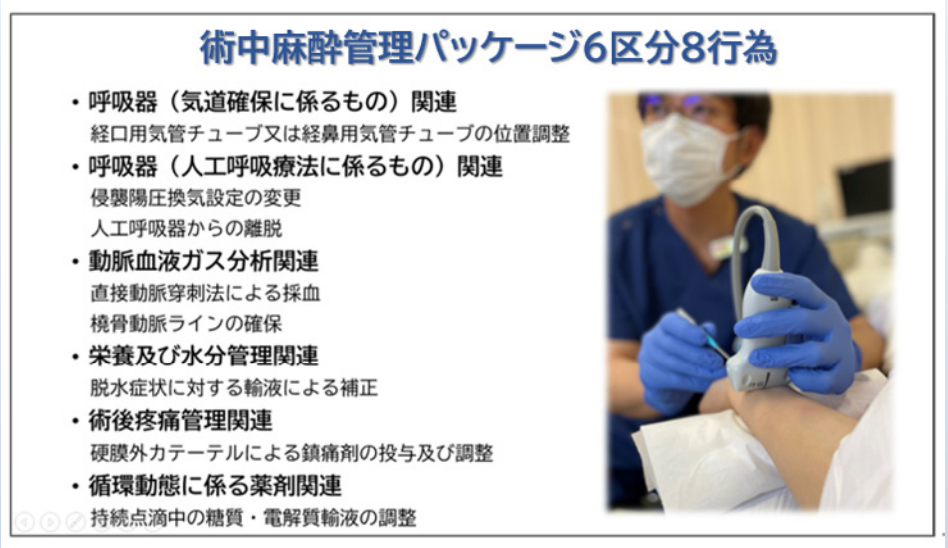
左：旧装置 造影剤 100mL 使用　右：新装置 造影剤 60mL 使用

術中麻酔管理パッケージ

（6 区分 8 行為）の

特定行為研修の修了者

が誕生しました！！



特定行為の実施の流れ→受講前・後でこのように変わります。

★脱水を繰り返すAさんの例

研修受講前

医師	看護師	看護師	医師	看護師	看護師
Aさんに脱水症状があれば連絡するように指示	Aさんを観察し、脱水の可能性を疑う	医師にAさんの状態を報告	看護師に点滴を実施するよう指示	点滴を実施	医師に結果を報告

特定行為の実施（研修受講後）：脱水症状に対する輸液による補正

研修受講後

医師	看護師			看護師	
手順書によりAさんに脱水症状があれば点滴を実施するように指示	Aさんを観察し、脱水の可能性を疑う	手順書に示された病状の範囲内		手順書によりタイムリーに点滴を実施	医師に結果報告

厚生労働省　看護師の特定行為研修の修了者に関する医師との協働の事例集より抜粋（一部改変）

当院の特定行為実践を推進するために組織をあげて取り組んでいます。

＜推進する医師のコメント＞

特定行為実践の魅力は可能となる臨床手技が増えることに注目されがちですが、患者の病態を評価する力が大きく向上することではないかと思います。「患者のみかた-看方-」が変化し、実臨床がより楽しくなるのではないでしょうか。医師のタスクシェアという点においても臨床手技だけでなく、患者の病態把握向上は非常に大きな助けになると思います。

＜特定行為研修担当師長のコメント＞

特定行為実践に限らず、臨床推論やフィジカルアセスメントを日々の看護実践の場で活かし、特定看護師の実践モデルとなれることに期待しています。

＜研修を修了した看護師のコメント＞

手術室で勤務しています。

特定行為研修で学んだこと、取得した特定行為を実践していきます。麻酔科医師と協力し、動脈ライン確保を中心にタスクシェアに取り組んでいきます。

＜研修を修了した看護師のコメント＞

ICU で勤務しています。集中ケア認定看護師です。現在、特定行為の活動日を設け、病棟ラウンドを行っています。今回の研修で取得した特定行為の実践に加え、研修で学習した臨床推論・フィジカルアセスメントをもとに看護実践能力の向上に取り組んでいきます。

第57回 福岡東部オープンカンファレンス

【開催】
2024年6月19日（水）

【テーマ】「当院の最新医療
～新任医師の紹介を兼ねて～」

【演題】

1. 食道運動機能異常症について

消化管内科　池田　浩子

2. 変化したリウマチ・膠原病治療

リウマチ・膠原病内科　小野　伸之

3. 胃癌治療ガイドラインと最近のトピックス

診療統括部長（消化管外科）山本　学





ご視聴はこちらから↓

【消化管症例検討会】

【開催】
2024年5月28日（火）17：00

【症例】

1.下血を繰り返したアミロイドーシスの２例
消化管内科医師　名取　宥哉

2.進行胃癌に対してConversion手術を行った１症例
外科医師　坂田　亮





ご視聴はこちらから↓

第58回 福岡東部オープンカンファレンス

【テーマ】 画像のあれこれ

【日時】2024年9月9日(月)18:30～20:00

【開催形式】Webex Webinars にてオンライン開催

【申込先】https://shiminhp.fcho.jp/event/oc

※お申込はこちらから

【演題】 日本医師会生涯教育講座 1.5単位（46咳・痰、60腰痛、0最新のトピックス）

18:30～19:00
①当院のCTとMRIの紹介
放射線部　木原 謙

19:00～19:30
②腰椎MRI：読影の基本
整形外科科長　田中 哲也

19:30～20:00
③胸部単純写真の見方と落とし穴
放射線科科長　清澤 恵理子

【問い合わせ先】〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番1号
地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院 地域医療連携室
Tel 092-632-3430 Fax 092-632-3431
E-mail renkei@fcho.jp

【主催】福岡市民病院・福岡市医師会 【共催】博多区・東区・粕屋医師会

福岡市民病院　外来担当医一覧表

（受付時間：平日　午前8時30分～午前11時）

◎：新患　●：再来

診療科		専門分野	医師名	月	火	水	木	金
消化管センター	消化管外科	消化器外科，一般外科	東 秀史（ヒガシ ヒデフミ）	○		○	○	
		消化器外科，一般外科	山本 学（ヤマモト マナブ）		○			○
	消化管内科	消化管一般，病態栄養	髙橋 俊介（タカハシ シュンスケ）	●	◎	内視鏡	●	透視 内視鏡
		消化管一般	池田 浩子（イケダ ヒロコ）	透視 内視鏡	●	◎	透視 内視鏡	●
		消化管一般	近藤 悠樹（コンドウ ユウキ）	◎	内視鏡	●	透視 内視鏡	◎
		消化管一般	名取 宥哉（ナトリ ユウヤ）	透視 内視鏡	内視鏡	内視鏡	◎	透視 内視鏡
		消化管一般	長田 美佳子（オサダ ミカコ）		内視鏡	内視鏡	内視鏡	
		消化管一般	後藤 綾子（ゴトウ アヤコ）	内視鏡				
肝・胆・膵センター	肝臓外科	肝・胆・膵外科，胆石外来	森田 和豊（モリタ カズトヨ）	○		○		
	肝臓内科	肝・胆・膵	小柳 年正（コヤナギ トシマサ）		○	○		○
		肝・胆・膵	吉本 剛志（ヨシモト ツヨシ）		○		○	○
		肝・胆・膵	中村 吏（ナカムラ ツカサ）	○		○	○	
		肝・胆・膵	原 真児登（ハラ マコト）	○				○
血管外科		血管外科，腎不全外科	江口 大彦（エグチ ダイヒコ）		○			○
		血管外科	本間 健一（ホンマ ケンイチ）	○				○
腎臓内科		腎臓内科一般，血液浄化	池田 裕史（イケダ ヒロフミ）	○	○	○	○	
		腎臓内科一般，血液浄化	吉田 祐子（ヨシダ ユウコ）					○
		腎臓内科一般，血液浄化	大賀 健司（オオガ ケンジ）					
糖尿病センター	糖尿病内科	糖尿病	坂井 義之（サカイ ヨシユキ）	●	◎	●	●	◎
		糖尿病	安部 健太郎（アベ ケンタロウ）	◎	●	●	◎	●
感染症内科		感染症	原田 由紀子（ハラダ ユキコ）					○
		感染症	谷 直樹（タニ ナオキ）				○	
		感染症	芳野 秀治（ヨシノ シュウジ）					
放射線科		画像診断一般，IVR	清澤 恵理子（キヨサワ エリコ）	エコー（超音波） ※交代制				
		画像診断一般	村山 佑里子（ムラヤマ ユリコ）					
		画像診断一般	佐野 淳偲（サノ アツシ）					
		画像診断一般	古城 友梨枝（コジョウ ユリエ）					
リウマチ・膠原病内科		リウマチ・膠原病・血管炎	小野 伸之（オノ ノブユキ）		●	●	◎	
呼吸器内科		呼吸器内科一般	柴原 大典（シバハラ ダイスケ）		○			

診療科		専門分野	医師名	月	火	水	木	金
内科			※曜日による交代制	安部	坂井(義)	池田(浩)	小柳	原
ハートセンター	循環器内科	循環器一般，虚血性心臓病，心不全	弘永 潔（ヒロナガ キヨシ）	●		◎	◎	
		循環器一般	大坪 秀樹（オオツボ ヒデキ）	◎	◎			●
		循環器一般，不整脈	康 憲史（カン ホンサ）		● 不整脈	● 不整脈		
		循環器一般	松浦 託（マツウラ タク）				●	◎
		循環器一般	馬場 功士（ババ イサシ）		●			
		循環器一般	渡邊 高徳（ワタナベ タカノリ）			●		
		循環器一般	塩入 慧亮（シオイリ ケイスケ）	●				
		ペースメーカー　第①③水曜午後				●		
脳神経・脳卒中センター	脳神経外科	脳血管障害，神経外傷，脊髄疾患，脳腫瘍，てんかん	平川 勝之（ヒラカワ カツユキ）	○	予約制のため手術	○		
		脳神経外科一般，救急	吉野 慎一郎（ヨシノ シンイチロウ）					○
		脳血管障害	福島 浩（フクシマ ユタカ）				○	
		脳神経外科一般	日下部 太朗（クサカベ タロウ）					○
	脳神経内科	脳神経内科一般	長野 祐久（ナガノ スケヒサ）	◎	●		●	◎
		脳神経内科一般，脳血管障害	中垣 英明（ナカガキ ヒデアキ）		◎		●	
		脳神経内科一般	柴田 憲一（シバタ ケンイチ）	●		◎		
		脳神経内科一般	向井 達也（ムカイ タツヤ）				◎	●
整形外科		脊椎外科	齊藤 太一（サイトウ タイチ）	○			○	
		脊椎外科	入江 努（イリエ ツトム）			○		○
		脊椎外科	田中 哲也（タナカ テツヤ）	○		○		
		股関節外科，膝関節外科，脊椎外科	中原 寛之（ナカハラ ヒロユキ）		○			○
		脊椎外科，外傷	青野 誠（アオノ マコト）	○			○	
		整形外科一般	江口 大介（エグチ ダイスケ）		○		○	
		整形外科一般	古場 裕人（コバ ヒロト）			○		
眼科		眼科一般	前田 真奈美（マエダ マナミ）	○	○	○	○	○
救急科		救急医学，集中治療医学	小野 雄一（オノ ユウイチ）					
		救急医学	砂川 卓哉（スナカワ タクヤ）					

地域医療連携室直通（平日 8：30～17：00）

TEL：092-632-3430　FAX：092-632-3431

編集・発行

地方独立行政法人　福岡市立病院機構

福岡市民病院

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番1号

TEL 092-632-1111　FAX 092-632-0900

https://shiminhp.fcho.jp/

■受付時間：平日8：30～11：00

■休診日：土日祝日・年末年始（12/29～1/3）

急患は救急外来で24時間対応します。